

GPSを用いた生コン車運行管理システム IMANANDAI



コンクリート打設時にデータをリアルタイム共有

開発の背景
 コンクリート工事における「今どこを打設しているの?」「生コン車は今どこにいるの?」「今何m³打設しているの?」といった工事担当者の課題に対し、ICTツールを用いて解決すべく開発しました。

技術の用途

本技術はコンクリート工事において、計画～報告の各段階での運用を想定しています。
 管理についても、施工から品質、安全といった項目についてターゲットしています。

コンクリート工事の効率化

現場の誰もが使える

環境問題への取り組み

イマナundai

機能

地図上で運行状況、わかりやすい画面でコンクリート打設予定量・実績量を見える化◇簡単なシステム導入

- ①運行状況の見える化
 - ・生コン車の車両位置をリアルタイムに地図上に表示し、運行履歴も表示
- ②打設状況の見える化
 - ・打設予定量・実績・残量の記録・表示
 - ・車両毎のコンクリート打設開始時刻
 - ・終了時刻を手動・自動記録及び表示
- ③データ出力
 - ・各種記録をCSVデータ出力可能



導入効果

現場関係者が誰でも・どこにいても運行状況を見える化 担当者を探したり、電話をかけるムダを無くし 生産性向上・省力化

- 今後の可能性**
- ①受入検査結果登録

生コンクリート受入検査時結果を登録し、品質分析・トレーサビリティを取れるようにする
 - ②音声によるドライバーへの注意喚起システム

地図上で注意すべき地域や範囲を指定し、生コン車が近づいたらドライバーに注意喚起する

技術の諸元
 本システムでは、PC・タブレット及びiPhoneを使用します。iPhoneのアプリから生コン車の運行状況（GPS測位による）やコンクリートの打設状況のデータがクラウドに送信され、PC・タブレットのWebアプリで状況を確認することができます。

